

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 辰野町 (都道府県: 長野県)  
本事業の担当部局名 まちづくり政策課

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	3.1.5 結婚・子育てを応援する社会的機運の醸成の広報				
個別事業名	結婚子育て応援さぽーとBOOK事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	令和4年度	
対象経費支出予定額 ※(注)1	203,500 円				
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p>&lt;地域における実情と課題&gt; 辰野町の人口は昭和60年(1985)の23,935人をピークに減少が続き、平成27年(2015)国勢調査を基とした、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、令和27(2045)年には13,767人まで減少すると予測されている。令和27年(2045)には年少人口、生産年齢人口は平成27年(2015)の半分以下まで減少する一方で、老年人口の減少幅は小さいため、高齢化率は上昇し続ける状況にある。近隣の市町村と比較してみても高齢化率は最も高くなっている。平成28年(2016)から令和元年(2019)までの3年間の転出入の状況では、男女ともに25歳から29歳の転出が多く、特に20代女性の転出と転入の差が大きくなっており転出超過となっている。出生数については、平成2年(1990)の222人をピークに令和3年(2021)は89人と大きく減少し、婚姻数についても平成12年(2000)の145件に対し、令和3年(2021)は60件と大きく減少している。平成27年(2015)国勢調査を基とした、こども女性比率(0~4歳人口と15~49歳女性人口比率)は0.195で近隣の市町村と比べると最も低くなっている。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 辰野町第6次総合計画では、基本目標「次代を担う人材が育つまち」の施策として「安心して子どもを生み、子育てができる環境の構築」を掲げ、結婚・妊娠・出産・子育てでの切れ目のない支援を行い、町民が安心して子どもを生み、子育てができる環境づくりを推進している。 第2期辰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「結婚・出産・子育ての希望をかなえよう!」の若者のライフステージに応じた取り組みを推進する施策として、 施策1: 出合いの場づくりへの支援 施策2: 誰もが働きやすい環境づくりの推進 施策3: 妊娠出産・子育て環境の充実 施策4: 子どもの学びの場づくりへの支援 の4つの施策を行うこととしている。 本事業は、上記施策の1~4に位置づけられるものである。</p> <p>(本個別事業における現状と課題) 当町では、各課で結婚支援、子育て支援、住宅支援を行っているが、一元的に情報を入手できずわかりづらいといった声があったことから、情報を一元化した冊子を作成し、周知PRを強化する必要がある。</p> <p>(課題への対応) 令和4年度に結婚子育て施策をまとめた冊子の内容をリニューアルし広くPR活動を展開することにより、町民の結婚親・家族間のさらなる意識醸成を図る。</p>				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	冊子作成	令和4年度に結婚子育て施策をまとめた冊子の内容をリニューアルし、補助金など具体的なものを掲載することにより、結婚・子育てに対する希望を持たせる。 当町の結婚・移住に対する補助、子育て施策を盛り込んだ内容の冊子を作成する。また、各民間事業者との連携や、広報誌、新聞、町ホームページを利用し、広く周知を図る。  ・広報の目的: 結婚支援、移住支援、住宅支援、子育て支援を各課で行っているが、一元的に情報を入手できずわかりづらい、まとめたものがほしいという声があったことから情報を一元化した冊子を作成し、周知PRをすることにより移住者や結婚を希望する人、子育て世帯に対する結婚親や家族間のさらなる意識醸成を図る。 ・ターゲット: 移住者、結婚を希望する方、子育て世帯 ・当該広報媒体の選定理由: 辰野町広報誌の子育て特集号として作成したときに、移住者や結婚世帯、子育て世帯向けに冊子として発行してほしいという声が多かったことから、冊子として昨年度から作成している ・女性や若者向けのセミナー、民間の金融機関、商工会、飲食店、不動産業者、工務店、結婚相談所、病院、各課窓口等に約980部配布	○	○
	【次年度以降に向けた事業の方向性】 事業の内容変更や要望の声を踏まえて業務改善を図る				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	第2期辰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるKPI				
	①若者世代(20~30代)の婚姻数	件	50(令和7年度)	55(令和3年度)	
②合計特殊出生率	%	1.6(令和7年度)	1.50(令和3年度)		
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.50(令和3年度)	
	婚姻件数		件	60(令和3年度)	
婚姻率			3.2(令和3年度)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	結婚子育て冊子数		部	1000	—
	結婚子育て冊子配布数		部	980	—
	結婚子育て冊子配布者に対する満足度		%	50	—
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	他市町村の公的相談所や長野県立図書館等との連携も図りながらPR活動を行う。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間の金融機関、商工会、飲食店、不動産業者、工務店、結婚相談所、病院等にチラシの配架にご協力をいただき、新聞掲載の依頼をし、広く周知を図る。				